

「子どもを取り巻くお金 ～最近のお子様事情～」

～現代の子ども達を取り巻く状況から金銭教育を考える～

プログラム

所要時間	内容
5分	導入
40分	子どもの消費者教育を体験してみよう！ ワークショップ「プレゼントの値段」
20分	子どもたちを取り巻く現状と消費者教育の必要性について 家庭で出来る金銭教育
20分	フリーディスカッション
5分	まとめ・アンケート

講座配布資料



ワークショップ「プレゼントの値段」



受講生のアンケートより

- ・今日の講座でもあったように、実際にお金を使っておつかいなどにいかせていなかったの、物は何でも欲しいといえは手に入ると思っている娘。やはり実際にお金に触れさせようと思いました。
- ・子どもにお金の使い方などちゃんと教えていなかったなと改めて思い知らされました。これから買い物に一人で行かせたり色々体験させて、失敗もさせて学ばせていきたいと思います。
- ・子どもに失敗させないようお小遣いを与えていなかったが、今日の話でもっと子供にいろんな経験をさせて失敗もさせて学ばせることが大切だと感じました。
- ・日頃贅沢になっている子どもたち。ゲーム機などが高価なので、つい大金を使っていますが、お金の価値、大切さをもう一度しっかり考えさせたいと思いました。
- ・今は子どもにお小遣いを与えていないが、あげることになれば子どもと相談して我が家のルール作りをしようと思います。両親ともに働いているので、お金の大切さやそれを通しての物を大事にすることはしっかり伝えたいと思います。
- ・子どものプレゼントが高額になってきているのが気になります。人と違って当たり前と頭で分かっている仲の良い友人がたとえばゲームを持っているとどうしてもそれがないと遊べないなど、遊びも限られる時があり、考えさせられます。